

はーと なび

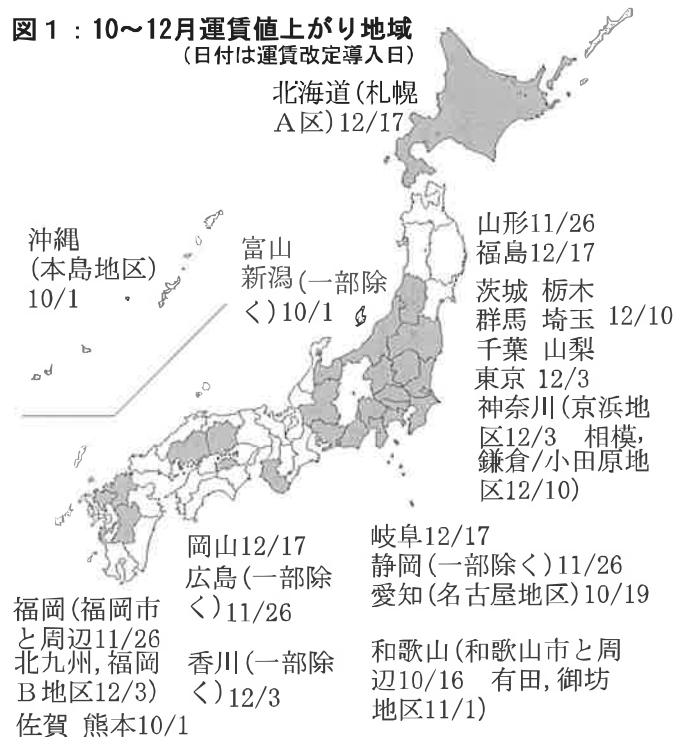
社団法人 全国腎臓病協議会 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-20-9 巣鴨ファーストビル3階
TEL03-5395-2631 FAX03-5395-2831

タクシー運賃の値上げ 10月～12月全国で相次ぐ

原油価格の高騰などを背景理由として、10月から12月にかけて半数近い都道府県でタクシー運賃(距離制)の値上げ改定が行われました(図1)。今後他地域へ運賃値上げが波及する可能性もあり、通院時にタクシーを利用する患者の負担がますます増大します。

今回の改定は、多くの地域で十数年ぶりの値上げとなりました。値上げの具体的金額は地域によって異なりますが、初乗り運賃においておおむね7%～12%の値上げとなっています。しかしながら、改定地域であってもあえて値上げを見送るタクシー会社もあります。例えば12月10日改定の茨城県では、県内の約7割のタクシー会社が値上げを見送っている状況です。

図1：10～12月運賃値上がり地域
(日付は運賃改定導入日)



関東運輸局

タクシー障害者割引 手帳取扱いについて通知

タクシーの障害者割引は、障害者手帳等の提示によりタクシー運賃が割引となる制度として広く知られていますが、一方で割引適用時にタクシー運転手が手帳の内容を記録するなどの不適切な対応が問題視されてきました。

これを受けて、この度関東運輸局は「手帳の提示とは、手帳に貼付の写真により本人確認を行う」ことであり、手帳内容の記録等は個人情報の取扱い

上不適切であるとの見解を公に示しました。また、管内のタクシー事業者に対し、手帳の適正な取扱いについて周知徹底を図るよう通知しました。

これまでの手帳の取扱いをめぐる問題の背景には、手帳の掲示について定義が存在しなかったことが影響しているといわれています。今回の関東運輸局の動きが、ひいては全国的な状況改善につながることを望まれます。

各地のトピックス

「ほほえみ佐世保」福祉有償 運送登録を完了(11月)

11月5日、「ほほえみ佐世保」(長崎県)は九州運輸局より福祉有償運送登録証の交付を受けました。昨年より福祉有償運送登録を目指してきた「ほほえみ佐世保」は、これをもって長崎県で10番目の福祉有償運送登録団体となりました。

「ほほえみ佐世保」では登録までの道のりを振り返り、運営協議会に少なからず時間がかかったが、これからもボランティアの協力のもとがんばっていきたい、としています。なお、現在「ほほえみ佐世保」では約10名の運転ボランティアが活動中です。

通院介護支援事業について

油井会長 厚生労働大臣表彰を受賞!

障害者社会参加促進の貢献者へ贈られる「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」を油井会長が受賞しました。受賞理由には、「透析患者自らが出来ることを行うという理念のもと、患者同士が助け合うマイカーボランティアを積極的に支援、先導し、人工透析患者の通院支援に取り組むなど、腎機能障害者の社会参加の促進」に寄与してきたことが挙げられています。

事務局
より

第6回 通院介護支援事業交流会について

参加の皆様
お疲れ様
です



11月3日～4日に第6回通院介護支援事業交流会が開催されました。当日の全体会・分科会の内容を簡単ではありますがご報告いたします。

【全体会】 初日は“通院介護支援事業の現状と課題”として金子智副会長より全腎協通院介護支援事業の沿革、今日の通院送迎をとりまく状況等について講演があり、講演は県組織と送迎実施団体の連携強化の重要性を強調して結びとなりました。翌日は“これから20年 当事者による活動および社会参加を整理するために”として、地域交通システムという観点から講師(NPO法人在宅ケア協会代表幹事 外山誠氏)が通院送迎を論じました。

【分科会】 県組織参加者が主となった第1分科会“通院介護支援事業における県組織の役割を考える”では、各県の現状と取組みの報告等を通じ、県ごとの通院事情の違いが明らかになりました。第2分科会“「無償」という選択”では長岡市喜多町地区送迎支援部会の事例発表を中心に、各「無償」活動団体の抱える課題や「無償」を選択した経緯について意見交換を行いました。

第3分科会“これからの通院介護支援事業を考える”では、送迎実施団、県組織、全腎協理事が一堂に会して議論が行われましたが、特に送迎団体から県組織・全腎協と送迎団体の連携をもとめる声が挙がりました。